

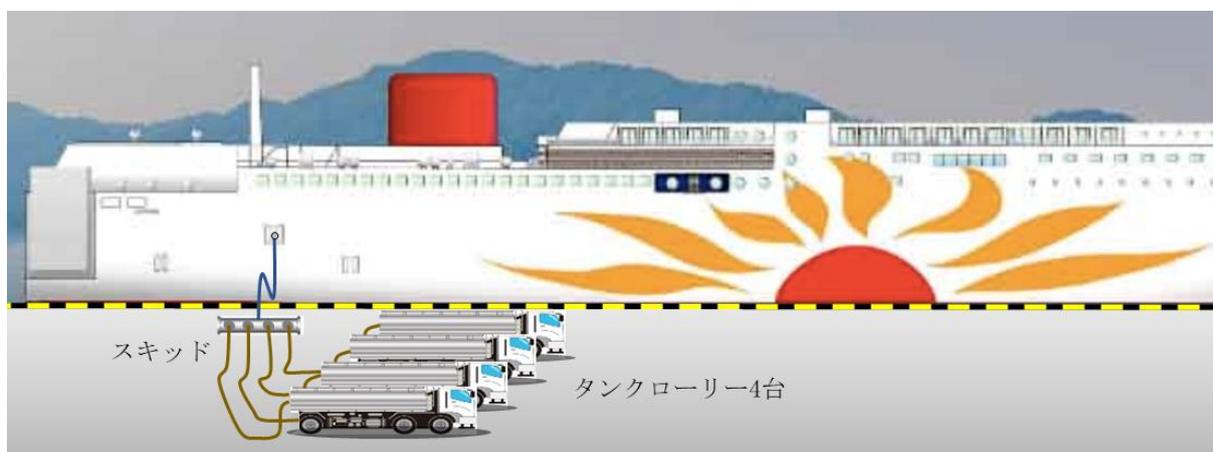
2023年1月6日  
株式会社商船三井  
商船三井フェリー株式会社  
石油資源開発株式会社  
北海道ガス株式会社

大洗～苫小牧航路 新造LNGフェリー2隻への  
LNG燃料供給に関する基本協定書を締結  
～船舶燃料の低炭素化に向け、フェリーのLNG燃料化をさらに推進～

株式会社商船三井（以下、「商船三井」）、石油資源開発株式会社（以下、「JAPEX」）および北海道ガス株式会社（以下、「北海道ガス」）は、商船三井のグループ会社である商船三井フェリー株式会社が運航する大洗～苫小牧航路の新造LNG燃料フェリー2隻（註1）（以下、「本船」）に対して、各港におけるLNG燃料供給に関する基本協定書を締結しました。

LNG燃料の供給開始は、本船が就航する2025年を予定しており、茨城県大洗港ではJAPEXが、北海道苫小牧港では北海道ガスが、それぞれ本船にTruck to Ship方式（註2）でLNG燃料を供給します。供給に際してはスキッドと呼ばれる導管装置を用いて、本船とタンクローリー4台を同時に接続します。これにより、限られた停泊時間に必要十分なLNG燃料を供給することが可能となります。

LNG燃料は、従来の燃料油に比べて、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の排出量を約25%削減する効果が見込め、現時点で船舶燃料の低炭素化を実現する有効な手段です。4社は国内におけるLNG燃料の普及推進をリードし、環境負荷の低減に貢献していきます。



タンクローリー4台とスキッドによるLNG燃料供給のイメージ（註3）

(註1) 以下関連プレスリリースをご参照ください。

2022年2月17日付 商船三井、商船三井フェリーほかプレスリリース「[最新鋭 LNG 燃料フェリー2隻の建造を決定 ～風を活かすスーパーECO フェリー誕生 加速するモータルシフトへの対応～](#)」

(註2) 船舶へのLNG供給方式の一つ。停泊中の本船に対して、岸壁に配置したタンクローリーからLNGを供給する方式。

(註3) 本イメージ図におけるLNGタンクの設置場所、スキッド形状等は本船と異なります。

#### 【会社概要】

会社名	株式会社商船三井	商船三井フェリー株式会社	石油資源開発株式会社	北海道ガス株式会社
代表取締役社長	橋本剛	尾本直俊	藤田昌宏	川村智郷
本社所在地	東京都港区 虎ノ門2丁目1番1号	東京都千代田区 外神田1丁目18番13号	東京都千代田区 丸の内1丁目7番12号	北海道札幌市東区 北7条東2丁目1番1号

以上